

SNC-CH135/CH140/CH180/CH240/CH280  
SNC-DH140/DH140T/DH180/DH240/DH240T/DH280  
リリースノート

Ver. 1.88

2018/6/29

Sony Corporation

## Release Note

## 変更履歴

#	リリース日	バージョン	主な変更内容及び、コメント
1	2009/12/16	1.05	SNC-CH140/DH140 初回リリース
2	2010/01/08	1.05.05	Bug Fix Ver. 1.05.05 で修正された問題点を記述
3	2010/01/25	1.07.00	SNC-DH180 対応リリース Ver. 1.07.00 で修正された Bug を記述
4	2010/4/26	1.10.01/ 1.10.02	Ver. 1.10.01 : SNC-CH240/DH240 対応リリース Ver. 1.10.02 : SNC-CH180 対応リリースおよび SNC-CH140/DH140/DH180 バージョンアップ対応 ・新機能追加、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点更新
5	2010/5/19	1.10.03	SNC-DH140T/DH240T 対応リリース Ver. 1.10.03 で修正された問題点を更新
6	2010/6/24	1.11	Ver. 1.11 で修正された問題点を更新
7	2010/09/17	1.26	・新機能追加、機能改善を追加。 ・対策した問題点、既知の問題点更新 ・ SNC-CH280/DH280 対応リリース
8	2011/03/04	1.31	・新機能、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点更新
9	2011/04/01	1.32.01	・SNC-CH135 対応リリース
10	2011/04/28	1.34	・Bug Fix
11	2011/08/22	1.50	・新機能を追加、機能改善を追加 ・対策した問題点、既知の問題点を更新
12	2012/1/20	1.61	改善した問題点を追加
13	2012/07/11	1.73.01	・Ver. 1.73.01 の新機能および改善した問題点を追加 ・6.1.更新(NTCIP の一般情報提供予定なし) ・14.8、14.9、18.11 を追加
14	2012/10/05	1.75	・Ver. 1.75 の新機能および改善した問題点を追加 ・既知の問題点更新(20.11、20.12)
15	2012/11/22	1.77	Ver. 1.77 の新機能および改善した問題点を追加
16	2013/08/01	1.79	Ver. 1.79 の新機能および改善した問題点を追加
17	2013/09/27	1.80	Ver. 1.80 の改善した問題点を追加
18	2014/02/27	1.82.01	Ver. 1.82.01 の新機能および改善した問題点を追加
19	2014/06/30	1.84	Ver. 1.84 の改善した問題点を追加
20	2014/11/10	1.85	Ver. 1.85 の新機能を追加
21	2016/12/22	1.86	Ver. 1.86 の新機能を追加 Ver. 1.86 で改善した問題点を追加
22	2017/04/25	1.87	Ver. 1.87 の新機能を追加
23	2018/06/29	1.88	Ver. 1.88 の新機能および改善した問題点を追加 既知の問題点更新(37.12)

## 目 次

1. 本リリースバージョンについて .....	7
1.1. 全般について .....	7
1.2. 動作環境について .....	7
1.3. 互換性について .....	8
2. ファームウェアアップグレード .....	8
3. Ver.1.88 の新規追加機能について .....	8
3.1. セキュリティの強化対応 .....	8
4. Ver.1.88 で改善した問題点 .....	8
4.1. ActiveX viewer にカメラ画像が表示されないことがある問題の修正 .....	8
5. Ver. 1.87 の新規追加機能について .....	8
5.1. セキュリティの強化対応 .....	8
6. Ver. 1.87 で改善した問題点 .....	8
7. Ver. 1.86 の新規追加機能について .....	8
7.1. セキュリティの強化対応 .....	8
7.2. ONVIF Ver. 16.07 対応 .....	8
8. Ver. 1.86 で改善した問題点 .....	8
9. Ver. 1.85 の新規追加機能について .....	9
9.1. Windows 8.1 IE11 対応 .....	9
9.2. ONVIF Ver. 14.06 対応 .....	9
10. Ver. 1.84 の新規追加機能について .....	9
11. Ver. 1.84 で改善した問題点 .....	9
11.1. スーパーインポーズによる日付表示機能の不具合修正 .....	9
12. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について .....	9
12.1. ONVIF Ver. 13.06 対応 .....	9
13. Ver. 1.82.01 で改善した問題点 .....	9
13.1. 夏時間期間内に時刻情報が進む不具合の修正 .....	9
13.2. ファームウェア格納メモリにおけるデータエラー訂正の能力強化 .....	9
14. Ver. 1.80 の新規追加機能について .....	10
15. Ver. 1.80 で改善した問題点 .....	10
15.1. ONVIF で 1280x720 から 1920x1080 までのフレームレートが正しく設定できない不具合修正 (SNC-CH240/DH240/DH240T/CH280/DH280) .....	10
15.2. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正 .....	10
16. Ver. 1.79 の新規追加機能について .....	10
16.1. Windows 8 IE10 対応 .....	10
16.2. ONVIF Ver. 12.12 対応 .....	10
16.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能 .....	10
16.4. G.726 の RFC3551 フォーマット対応 .....	10
17. Ver. 1.79 で改善した問題点 .....	11
17.1. OSD 使用時のフォーカスインジケータ等の表示での不具合対応 .....	11
17.2. ONVIF における音声のみの Profile 対応 .....	11
17.3. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正 .....	11
17.4. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正 .....	11
17.5. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応 .....	11

17.6.	画像切り出し設定時のプライバシーマスキング設定不具合の修正 .....	11
17.7.	Edge Storage の記録性能の改善 .....	11
17.8.	RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加 .....	12
18.	Ver. 1.77 の新規追加機能について .....	12
18.1.	ONVIF Profile S 対応 .....	12
19.	Ver. 1.77 で改善した問題点 .....	13
19.1.	SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善 .....	13
19.2.	MPEG-4 の SDP 修正 .....	13
19.3.	他社クライアントソフトとの接続性改善 .....	13
19.4.	ONVIF 接続時におけるソリッド PTZ 動作 .....	13
19.5.	ビデオ出力信号が変わる問題 (SNC-CH180/CH280) .....	13
19.6.	映像2の設定情報が呼び出しできない問題 .....	13
20.	Ver. 1.75 の新規追加機能について .....	13
20.1.	動体検知/カメラ妨害検知/音圧検知対応 (SNC-CH135) .....	13
20.2.	CGI コマンドによる WS-Discovery 設定 .....	13
21.	Ver. 1.75 で改善した問題点 .....	14
21.1.	SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題 .....	14
21.2.	動体検知中に alarmdata.cgi が非検知を通知する問題 .....	14
21.3.	Full Duplex 通信でのスループット低下 .....	14
21.4.	マルチキャスト配信時の応答性改善 .....	14
21.5.	ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答 .....	14
22.	Ver. 1.73.01 の新規追加機能について .....	14
22.1.	サポートするブラウザ .....	14
22.2.	映像/音声別のマルチキャストアドレス設定 .....	14
22.3.	カメラ動作モード設定 (SNC-CH240/CH280/DH240/DH240T/DH280) .....	14
23.	Ver. 1.73.01 で改善した問題点 .....	15
23.1.	ビデオコーデックビットレート工場出荷設定変更 (SNC-CH240/CH280/DH240/DH240T/DH280) .....	15
23.2.	RtpExpire 設定値の反映 .....	15
23.3.	ONVIF コマンド GetVideoSourceConfigurationOptionsRequest に対する応答不具合 15	
24.	Ver. 1.61 で改善した問題点 .....	15
24.1.	ビデオコーデックモード設定改善 .....	15
24.2.	屋外モデルでの外部アンテナ設定メニュー表示 .....	15
24.3.	Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合 .....	15
24.4.	Smartphone viewer のストリーム受信不具合 .....	15
24.5.	JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正 .....	16
24.6.	Audio upload 認証エラー時の再接続不具合 .....	16
24.7.	Edge Storage 再生不具合 .....	16
25.	Ver. 1.50 の主な新規追加機能について .....	16
25.1.	NTCIP 対応 .....	16
25.2.	Connection List .....	16
25.3.	Smartphone viewer .....	16
26.	Ver. 1.50 で改善した問題点 .....	17
26.1.	SNMP 関連の設定保存 .....	17

27. Ver. 1.34 で改善した問題点 .....	17
27.1. Edge Storage .....	17
27.2. アラームパッファ .....	17
27.3. ストリーミング .....	17
27.4. IR 照射 (SNC-CH180/DH180/CH280/DH280) .....	17
28. Ver. 1.32.01 の主な新規追加機能について .....	18
28.1. 新機種追加対応 .....	18
29. Ver. 1.31 の主な新規追加機能について .....	18
29.1. 言語 .....	18
29.2. サポートする OS, ブラウザ .....	18
29.3. ONVIF .....	18
29.4. 画像サイズ .....	18
29.5. レターボックス .....	18
29.6. Edge Storage .....	18
30. Ver. 1.31 で変更／改善された機能について .....	19
30.1. プリセット名 .....	19
30.2. 露出 .....	19
31. Ver. 1.26 の主な新規追加機能について .....	19
31.1. SNC-CH280/DH280 新機種追加対応 .....	19
31.2. 言語 .....	19
31.3. フレームレートの追加 .....	19
31.4. スローシャッターに 1/30 の追加 .....	19
31.5. RTSP Multicast ストリーミング .....	19
32. Ver. 1.26 で変更／改善された機能について .....	20
32.1. ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ .....	20
33. 機能の制限等について .....	20
33.1. Audio Upload Tool .....	20
33.2. カメラ妨害検知のアラーム (SNC-CH135 は除く) .....	20
33.3. VMF (SNC-CH135 は除く) .....	20
33.4. SSL .....	20
33.5. 画像切り出し .....	20
33.6. RTSP ストリーミング .....	20
33.7. Edge Storage .....	21
33.8. JPEG の帯域制限 .....	21
33.9. 動体検知領域の設定 (SNC-CH135 は除く) .....	21
34. Ver. 1.32.01 で改善した問題点 .....	22
35. Ver. 1.31 で改善した問題点 .....	22
35.1. Absolute PTZF .....	22
35.2. SNC-CH240/DH240/DH240T/CH280/DH280 の画質 .....	22
35.3. H.264 での画乱れ .....	22
35.4. 動体検知 .....	22
35.5. イベントファイル .....	22
36. Ver. 1.26 で改善した問題点 .....	23
36.1. 時刻変更 .....	23
36.2. Edge Storage .....	23

## Release Note

36.3.	ストリーミング以外の静止画(JPEG)の画質設定 .....	23
36.4.	MPEG-4 でのビットレート.....	23
36.5.	RTSP .....	23
36.6.	EasyFocus 中のデイ／ナイトモード設定変更 .....	24
36.7.	制限を超えた画像サイズの設定 (SNC-CH240/DH240/DH240T) .....	24
37.	既知の問題点について .....	25
37.1.	IPv6 DHCPv6 について .....	25
37.2.	Safari について .....	25
37.3.	ソリッド PTZ .....	25
37.4.	H.264 での画揺れ .....	25
37.5.	ナトリウムランプ光源下でのフリッカー .....	25
37.6.	Edge Storage .....	25
37.7.	RTSP .....	25
37.8.	SNC video player .....	25
37.9.	Smartphone viewer での長時間再生 .....	26
37.10.	Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下 .....	26
37.11.	SNC toolbox によるカメラ妨害検知ならびに音圧検知設定 (SNC-CH135) .....	26
37.12.	MPEG4 設定時の RTSP ストリーミングで映像が表示されないことがある問題 .....	26

## 1. 本リリースバージョンについて

### 1.1. 全般について

本バージョンは、Ver. 1.88 になります。

以下の機種が対象となります。

- SNC-CH135 (CN)
- SNC-CH140 (SYM, CN)
- SNC-CH140C (AR)
- SNC-CH180 (SYM, CN)
- SNC-CH240 (SYM, CN)
- SNC-CH280 (SYM, CN)
- SNC-DH140 (SYM, CN)
- SNC-DH140T (SYM, CN)
- SNC-DH180 (SYM, CN)
- SNC-DH240 (SYM, CN)
- SNC-DH240T (SYM, CN)
- SNC-DH280 (SYM, CN)

詳細内容については、本リリースノートで説明しています。

### 1.2. 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS
  - Windows 7 (32bit 版、64 bit 版)
  - Windows 8.1 Pro (32bit 版、64 bit 版)
  - 動作検証済みエディション:
    - Windows 7 : Ultimate、Professional
    - Windows 8.1 : Pro
  - Microsoft DirectX 9.0c 以上
- Webブラウザ
  - Microsoft Internet Explorer Ver 11.0 (Windows 8.1 デスクトップモードのみ対応)
  - Firefox Ver. 50.1 (Plug-in free viewer のみ対応)
  - Google Chrome Ver. 55.0 (Plug-in free viewer のみ対応)
- CPU
  - Intel Core 2 Duo、2 GHz 以上 (SNC-CH135/CH140/CH180/DH140/DH140T/DH180)
  - Intel Core 2 Duo、2.33 GHz 以上 (SNC-CH240/CH280/DH240/DH240T/DH280)
- メモリ
  - 1 GB 以上 (SNC-CH135/CH140/CH180/DH140/DH140T/DH180)
  - 2 GB 以上 (SNC-CH240/CH280/DH240/DH240T/DH280)
- ディスプレイ
  - 1600 × 1200 画素以上 (SNC-CH135/CH140/CH180/DH140/DH140T/DH180)
  - 1600 × 1200 画素以上 (2560 × 1600 画素以上を推奨) (SNC-CH240/CH280/DH240/DH240T/DH280)

### 1.3. 互換性について

CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して Ver1.87 との互換性があります。

## 2. ファームウェアアップグレード

ファームウェアのアップグレードを行う場合は、SNC toolbox (Ver.1.3.8.0 以降)を使用してください。SNC toolbox が対応するカメラの詳細については、SNC toolbox のリリースノートを参照してください。使用方法に関してはユーザーガイドの“SNC toolbox を使う”を参照してください。

## 3. Ver.1.88 の新規追加機能について

### 3.1. セキュリティの強化対応

## 4. Ver.1.88 で改善した問題点

### 4.1. ActiveX viewer にカメラ画像が表示されないことがある問題の修正

Internet Explorer (IE) でカメラに接続した際に、ActiveX viewer(および動体検知設定のモニター画面)の左上に×マークが表示され、カメラ画像が表示されないことがある問題を修正しました。  
(Ver. 1.87 からの問題)

## 5. Ver. 1.87 の新規追加機能について

### 5.1. セキュリティの強化対応

【ご注意】ActiveX のインストールに失敗する場合は、最新の Windows セキュリティパッチを当ててください

## 6. Ver. 1.87 で改善した問題点

本バージョンで改善した問題点はありません。

## 7. Ver. 1.86 の新規追加機能について

### 7.1. セキュリティの強化対応

### 7.2. ONVIF Ver. 16.07 対応

ONVIF Device Test Tool Version 16.07 で適合検証を行っています。

## 8. Ver. 1.86 で改善した問題点

カメラ電源投入時に、ごくまれに起動に失敗することがある問題がありましたので、修正しました。  
(Ver 1.05 からの問題)



## 9. Ver. 1.85 の新規追加機能について

### 9.1. Windows 8.1 IE11 対応

Windows 8.1 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer11 (IE11) に対応しました。また、Windows 8.1 のスタート画面から起動された IE11、および Windows 7 版の IE11 での動作確認は行っておりません。

### 9.2. ONVIF Ver. 14.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 14.06で適合検証を行っています。

## 10. Ver. 1.84 の新規追加機能について

ありません。

## 11. Ver. 1.84 で改善した問題点

### 11.1. スーパーインポーズによる日付表示機能の不具合修正

スーパーインポーズによる日付表示機能において、下1桁に4と8を含む年をすべて閏年と判定していた不具合を修正しました。具体的には2014年、2018年、2034年、2038年および以降の不具合発生年において、2月28日の翌日を2月29日と表示し、システム設定の年月日から1日ずれてしまいます。GUIの「日付/時刻」タブでは正しく3月1日と更新されていますので、同タブにて年月日を更新するとスーパーインポーズ表示を修正することは可能です。

(Ver. 1.05 からの問題)

## 12. Ver. 1.82.01 の新規追加機能について

### 12.1. ONVIF Ver. 13.06 対応

ONVIF Device Test Tool Version 13.06で適合検証を行っています。

## 13. Ver. 1.82.01 で改善した問題点

### 13.1. 夏時間期間内に時刻情報が進む不具合の修正

「自動的に夏時の調整をする」機能を有効にしている場合、夏時間期間内においてカメラ内の時刻情報が3日間から4日間毎に1時間ずつ進む不具合がありました。本バージョンにて修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 13.2. ファームウェア格納メモリにおけるデータエラー訂正の能力強化

メモリの一部の領域でデータが壊れた場合に、電源をOFF/ON、もしくはリブートした後に、機器が起動しない、一部の機能が正常動作しない等の症状が発生する可能性があります。このため、エラー訂正能力を強化しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

#### 14. Ver. 1.80 の新規追加機能について

ありません。

#### 15. Ver. 1.80 で改善した問題点

15.1. ONVIF で 1280x720 から 1920x1080 までのフレームレートが正しく設定できない不具合修正 (SNC-CH240/DH240/DH240T/CH280/DH280)

H.264コーデックで1280x720から1920x1080までの画像サイズが選択されている場合、ONVIFコマンドにおけるフレームレート設定が正しく反映されない不具合がありました。(CGIコマンドにおいて、不具合はありません。)本バージョンにて修正しました。  
(Ver. 1.05 からの問題)

15.2. 起動直後の 802.1x 認証が失敗する不具合の修正

802.1x認証機能付きのPoE Hubとの接続において、起動時に802.1x認証が失敗する不具合がありました。本バージョンにて修正しました。  
(Ver. 1.01 からの問題)

#### 16. Ver. 1.79 の新規追加機能について

16.1. Windows 8 IE10 対応

Windows 8 で動作するデスクトップユーザーインターフェース版の Internet Explorer10 (IE10) に対応しました。また、Windows 8 のスタート画面から起動された IE10、および Windows 7 版の IE10 での動作確認は行っておりません。

16.2. ONVIF Ver. 12.12 対応

ONVIF Device Test Tool Version 12.12で適合検証を行っています。

16.3. RTP ストリームへの User Data 付加機能

RTPストリームへ UserData を付加できる機能を追加しました。

CGIのカテゴリに userdata.cgi を追加し、パラメータ RTPUserData の値を on へ変更することで有効にできます。

[http://ip\\_adr/command/userdata.cgi?RTPUserData=on](http://ip_adr/command/userdata.cgi?RTPUserData=on)

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

16.4. G.726 の RFC3551 フォーマット対応

G.726音声コーデックフォーマットを従来のITU-Tフォーマットに加え、RFC3551フォーマットにも対応しました。通常ONVIF接続時にはRFC3551フォーマットが選択されます。

次のように2つのフォーマットはストリーミング取得時のURIにより指定できます。

- ITU-Tフォーマット  
rtsp://ip\_adr/media/video1  
または  
rtsp://ip\_adr/media/video1?g726=itu-t
- RFC3551フォーマット  
rtsp://ip\_adr/media/video1?g726=rfc3551

RFC3551 フォーマット使用時のオーディオストリーミングポート番号は次の CGI パラメータで指定できます。

- ユニキャスト: RTSPUcAudioG726RfcPort (デフォルト 51004)
- マルチキャスト: RTSPMcAudioG726RfcPort (デフォルト 61004)

## 17. Ver. 1.79 で改善した問題点

### 17.1. OSD 使用時のフォーカスインジケータ等の表示での不具合対応

OSDが使用されている状態で、フォーカスやズームインジケータ表示を出す場合、画面上に前データの一部分が表示されてしまう不具合を修正しました。

(Ver. 1.77 からの問題)

### 17.2. ONVIF における音声のみの Profile 対応

ONVIFにおいて音声のみのProfileが作成された場合、GetStreamUriコマンドに対してBadRequestを返していましたが、URIを返すように修正しました。

(Ver. 1.77 からの問題)

### 17.3. ONVIF においてタイムゾーン設定ができない不具合の修正

ONVIFにおいて、CET-1、IDLWのタイムゾーン設定ができなかったため、修正しました。また、GMTからのオフセット時間設定もできるように修正しました。(例えば、US、CANADAは「GMT-5」のように設定できます。ただし、分、秒単位のオフセット設定は対応していません。)

(Ver. 1.05 からの問題)

### 17.4. ONVIF において HTTP の Port 設定変更後の通知ができない不具合の修正

デフォルト値と異なるPort番号が設定されている場合、ONVIFにおけるDevice Service AddressのPort番号付与ができていなかったため、変更後のPort番号を付与するように修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 17.5. ONVIF における Video Encoder Configuration 対応

ONVIFにおいてVideo Encoder Configurationによる映像2側の問い合わせ、および設定ができない不具合がありました。同不具合に対して、映像1に依存して決定する映像2の設定パラメータを算出し、問い合わせへの応答、および設定ができるように修正しました。

また、RTSP セッションタイムアウト設定もできるように修正しました。(PTxxHxxMxxS表記の対応、および600秒を超える場合は、最大値の600秒として設定するようにしました。)

(Ver. 1.05 からの問題)

### 17.6. 画像切り出し設定時のプライバシーマスキング設定不具合の修正

画像切り出し設定時にプライバシーマスキングを設定すると、設定後の位置がずれてしまう不具合を修正しました。

(Ver. 1.01 からの問題)

### 17.7. Edge Storage の記録性能の改善

メディアへのデータ書き込みが正常に行われない場合があります。

同症状が発生した場合、メディアエラーを検知し記録が停止してしまいます。

この症状に対し、メディアへ書込むデータ形式の変更を伴う修正で対応を行いました。  
(Ver. 1.31からの問題)

[ご注意]

記録済みデータは新しいデータ形式へ変換することが出来ません。  
本バージョンでも、メディアによっては1秒近く記録できない症状が稀に発生します。

以前のファームウェアから本バージョンにアップグレードして、引き続きEdge Storageをお使いになるお客様は、下記の手順に従って下さい。

- 1) Edge Storage機能とイメージメモリー機能を停止する。
- 2) メディア内の記録済みデータのバックアップを行う(後述)。
- 3) ファームウェアをアップグレードする。
- 4) メディアを本機にてフォーマットする(記録済みデータは全て消去されます)。
- 5) Edge Storage機能とイメージメモリー機能を再開する。

メディア内の記録済みデータは以下のいずれかの方法でバックアップして下さい。

- a) RTSPストリーミング可能なレコーダーで、メディア内の映像データをストリーミング再生し保存する。
- b) 本機のFTPサーバー機能をオンにし、メディア内のデータをクライアントへコピーする。※
- c) 本機の電源を切った後、メディアを本機から取り出し、メディア内のデータをコンピューター等へコピーする。※

※ b)、c) の場合、コピーした映像データ(\*.mafファイル)は、SNC video playerで再生可能です。

バックアップ前にファームウェアアップグレードを行ってしまった場合には、元のファームウェアバージョンに戻してから上記手順に従って下さい。メディア内に古いデータ形式のファイルを検出した場合は、スーパーインポーズにて“FORMAT MEDIA PLEASE”と表示されます。また、システムログにおいてもフォーマットを促すメッセージが表示され、Edge Storageの再開はできません。

#### 17.8. RTSP における PLAY の応答に RTP-Info ヘッダ付加

RTSPにおけるPLAYの応答において、RTP-Infoヘッダを付加できるように修正しました。下記のCGIコマンドにおいて、RTPInfo/パラメータをonすることで付加されます。(デフォルトはoffでなし。)

[http://ip\\_adr/command/camera.cgi?RTPInfo=on](http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPInfo=on)

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

(Ver. 1.05 からの問題)

#### 18. Ver. 1.77 の新規追加機能について

##### 18.1. ONVIF Profile S 対応

ONVIF Profile Sに対応しました。ONVIF Device Test Tool Version 12.06で適合検証を行っています。

## 19. Ver. 1.77 で改善した問題点

### 19.1. SSL 有効時のストリーミング画像パフォーマンス改善

SSL有効時のストリーミング画像のフレームレートを従来よりも向上させました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 19.2. MPEG-4 の SDP 修正

RTSPで使用されるMPEG-4のSDP(Session Description Protocol)情報の最後に余分なデータ4バイトが付加されていたので削除しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 19.3. 他社クライアントソフトとの接続性改善

Genetec製Omnicastクライアントソフトとの接続が切れてしまうことがある問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.31 からの問題)

### 19.4. ONVIF 接続時におけるソリッド PTZ 動作

ONVIF 接続時の Absolute Pan/Tilt/Zoom 操作及び Relative Pan/Tilt/Zoom 操作に対応しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

#### [注意]

- Relative PanTilt と Relative Zoom の同時操作には対応していません。
- Continuous Pan/Tilt/Zoom 操作には対応していません。

### 19.5. ビデオ出力信号が変わる問題 (SNC-CH180/CH280)

本体の「NTSC/PAL切り換えスイッチ」を使ってビデオ出力信号をPALに設定した後、カメラ設定情報の保存ならびに呼び出しを行うと、NTSCになってしまう問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 19.6. 映像2の設定情報が呼び出しできない問題

映像2の設定情報が正しく呼び出しできない場合がある問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

## 20. Ver. 1.75 の新規追加機能について

### 20.1. 動体検知/カメラ妨害検知/音圧検知対応 (SNC-CH135)

SNC-CH135は従来非対応であった動体検知、カメラ妨害検知、音圧検知に対応しました。

### 20.2. CGI コマンドによる WS-Discovery 設定

CGIコマンドの設定によりONVIFで使用するWS-Discoveryプロトコルを作動させないように出来ます。この時、239.255.255.250宛のマルチキャストJoinメッセージは起動時に発行されません。

[http://ip\\_adr/command/system.cgi?WsDiscovery=off](http://ip_adr/command/system.cgi?WsDiscovery=off)

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

## 21. Ver. 1.75 で改善した問題点

### 21.1. SSL 有効時に alarmdata.cgi が送信されない問題

SSL有効時にalarmdata.cgiが送信されない問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.31 からの問題)

### 21.2. 動体検知中に alarmdata.cgi が非検知を通知する問題

動体検知中にもかかわらずalarmdata.cgiが非検知を示す0を返す可能性がありましたので修正しました。実際の発生頻度は稀少です。

(Ver. 1.50 からの問題)

### 21.3. Full Duplex 通信でのスループット低下

CGI コマンドによりイーサネット通信モードを 10Mbps または 100Mbps の Full Duplex 固定に設定すると、ネットワークスループットが低下する問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 21.4. マルチキャスト配信時の応答性改善

マルチキャスト配信時のCGIコマンドに対する応答性を改善しました。

(Ver. 1.05からの問題)

### 21.5. ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration に対するエラー応答

ONVIF コマンド SetVideoEncoderConfiguration 要求に対して、“HTTP/1.1 500 Internal Server Error”の応答が返ることがありましたので修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

## 22. Ver. 1.73.01 の新規追加機能について

### 22.1. サポートするブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver.9.0に対応しました。

Windows 7で動作検証を行っています。

### 22.2. 映像/音声別のマルチキャストアドレス設定

映像1、映像2および音声ごとに個別のマルチキャストアドレスを設定および配信することを可能にしました。

詳細は CGI コマンド説明書を参照してください。

#### [注意]

本機能は ActiveX viewer、設定画面、SNC toolbox からは使用できません。

### 22.3. カメラ動作モード設定 (SNC-CH240/CH280/DH240/DH240T/DH280)

映像のキャプチャは常時30fpsで行っていましたが、25fpsでも行えるようにしました。設定画面の他にCGIコマンドからも設定できます。CGIコマンドの詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

#### [注意]

- 最大画像サイズが 1920 x 1440 になっている時は 25fps に設定できません、
- 本機能は SNC toolbox からは使用できません。

## 23. Ver. 1.73.01 で改善した問題点

### 23.1. ビデオコーデックビットレート工場出荷設定変更

(SNC-CH240/CH280/DH240/DH240T/DH280)

ビデオコーデックビットレート工場出荷設定を2Mbpsから4Mbpsへ変更しました。

(Ver. 1.05 からの仕様)

### 23.2. RtpExpire 設定値の反映

CGIパラメータRtpExpireの値を変更した場合、リブートを伴わないと反映されないという問題がありましたので修正しました。

この修正により、リブートは不要となり、RtpExpireの値を変更した際に反映されるようになります。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 23.3. ONVIF コマンド GetVideoSourceConfigurationOptionsRequest に対する応答不具合

ONVIFコマンドGetVideoSourceConfigurationOptionsRequestでConfig.Profileの指定無しの時

GetVideoSourceConfigurationOptionsResponseにVideoSourceTokenAvailableフィールドが無い不具合を修正しました。

(Ver. 1.05からの問題)

## 24. Ver. 1.61 で改善した問題点

### 24.1. ビデオコーデックモード設定改善

ビデオコーデックモードのフレームモードまたはビットレートの設定が行われた際に、変更が反映されるまでに約3秒間程度要していましたが、今回の改善により変更反映時間を約1/10程度に短縮しました。

(Ver. 1.05からの問題)

### 24.2. 屋外モデルでの外部アンテナ設定メニュー表示

屋外モデル (SNC-CH180及びSNC-CH280) はSNCA-AN1を装着しない仕様にも関わらず「アンテナ」設定メニューの選択肢に[内部]、[外部]、[ダイバーシティ]が表示されてしまう問題がありましたので、[内部]のみ常時表示するように修正しました。

(Ver. 1.10.02からの問題)

### 24.3. Smartphone viewer の Landscape mode 表示不具合

Smartphone viewer使用時、Landscape modeで表示した際に画面下部が表示されない問題がありましたので、修正しました。アスペクト比を保持したまま表示領域内に全画面を表示しますので、左右に黒帯が表示されることがあります。

(Ver. 1.50からの問題)

### 24.4. Smartphone viewer のストリーム受信不具合

Smartphone viewer使用時、ネットワークメニューの「HTTPポート番号」を既定値の80番以外に変更するとストリームを受信出来ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.50からの問題)

#### 24.5. JPEG RTP パケットの Fragment Offset 値不正

JPEGのRTPパケットヘッダ部のFragment Offset値がRFC規定値と異なっている問題がありましたので、修正しました。

互換性保持のために従来と同じ値で使いたいクライアントのために次のCGIコマンドを用意しました。

`http://ip_adr/command/camera.cgi?RTPMJPEGOOffset=off`

詳細はCGIコマンド説明書を参照してください。

(Ver. 1.05からの問題)

#### 24.6. Audio upload 認証エラー時の再接続不具合

Audio uploadの接続時に認証エラーが発生してもカメラ側からコネクションをクローズしていなかったため、クライアントが同じコネクションを使用して再接続する場合に失敗していた問題をカメラ側からコネクションをクローズするようにして修正しました。

なお、SNC audio upload toolではクライアントからコネクションを切断しているため従来よりこの問題は発生しません。

(Ver. 1.05からの問題)

#### 24.7. Edge Storage 再生不具合

Edge Storageで指定された再生開始時刻と停止時刻によっては再生出来ないことがある問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.31からの問題)

### 25. Ver. 1.50 の主な新規追加機能について

#### 25.1. NTCIP 対応

NTCIP(National Transportation Communications for ITS protocol)は、米国で標準化されている交通監視用のプロトコルです。米国VidSys社製のVidShieldソフトからプリセット登録及び呼び出し、PTZ制御等が行えます。

管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

#### 25.2. Connection List

ストリーミングの配信先に関する情報を取得するための機能です。どのクライアントがストリーミングを受信しているかを知るために使用します。

ストリーミング配信先のIPアドレス及びポート番号、HTTPあるいはUDP等の使用されているプロトコル、H.264等のメディアの種類等の詳細情報をセッション毎に取得することが出来ます。

CGIコマンドで対応しています。管理者設定メニューに本機能に関する設定項目はありません。

本機能に関する詳細はCGIコマンド説明書を参照してください

#### 25.3. Smartphone viewer

スマートフォンからアクセスして、映像を表示したり、PTZ操作をするためのスマートフォン用のビューアーです。

本機能のユーザーマニュアル及びサポート情報は下記のサイトに置いてありますので、参照して下さい。



<http://www.sony.net/ipela/snc>

## 26. Ver. 1.50 で改善した問題点

### 26.1. SNMP 関連の設定保存

バージョンアップを行った時や設定呼び出しを行った時にSNMP関連の設定が保存されない場合がありますので修正しました。Ver. 1.50より以前のバージョンからバージョンアップする場合やVer. 1.50より以前のバージョンで設定保存を行ったファイルから設定呼び出しを行う場合は、必要なSNMP関連の設定値は控えておき、バージョンアップまたは設定呼び出し後に再設定してください。

(Ver. 1.05からの問題)

## 27. Ver. 1.34 で改善した問題点

### 27.1. Edge Storage

上書き設定がONのときに、500個のエントリーがある場合、古いエントリーから上書きされない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.31 からの問題)

RTP/RTSP/HTTP で再生できない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.31 からの問題)

ストリーミングのタイムスタンプに誤りがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10 からの問題)

Range パラメータの小数点以下が切り捨てられる問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.31 からの問題)

### 27.2. アラームバッファ

アラームバッファを使用する際、ポスト時間とイベント発生が重なるとデータを破棄してしまう問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 27.3. ストリーミング

Multicast のストリーム取得要求が連続で行われると失敗することがあるという問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.05 からの問題)

### 27.4. IR 照射 (SNC-CH180/DH180/CH280/DH280)

IR 照射を「デイ/ナイト連動」に設定して、デイ/ナイトモードを「自動」以外に設定していた時、ナイト時に赤外線照射器が動作しない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.31 からの問題)

## 28. Ver. 1.32.01 の主な新規追加機能について

### 28.1. 新機種追加対応

本バージョンでは、SNC-CH135 対応を行っています。

## 29. Ver. 1.31 の主な新規追加機能について

### 29.1. 言語

ポルトガル語が使用できるようになりました。

### 29.2. サポートする OS, ブラウザ

64bit 版 Windows 7 に対応しました。

動作検証済みエディション

- Windows 7 Professional

### 29.3. ONVIF

ONVIF Core Spec Version 1.02 に対応しました。

### 29.4. 画像サイズ

画像サイズに、800×600 を追加しました。

### 29.5. レターボックス

レターボックス機能を追加しました。

レターボックス機能は、入力した映像の縦横比と、配信される画像の縦横比が違う場合、縦横比を保持した状態でリサイズを行う機能です。

### 29.6. Edge Storage

Edge Storage 機能に以下の機能が追加されました

- 時刻のミリ秒対応  
録画開始、停止時間がミリ秒単位で表現されます。
- Search cgi で録画データ(1 Stream)の Volume 表示  
録画データのサイズを kbyte 単位で表現します。
- Search cgi で録画データ(1 Stream)の On-Recording 表示  
現在録画中のデータと録画済みのデータが、それぞれ Recording と Recorded として識別されます。

## 30. Ver. 1.31 で変更／改善された機能について

### 30.1. プリセット名

プリセット名に全角文字を使用出来るようになりました。

ただし、スーパーインポーズでは、全角文字は表示されません。

### 30.2. 露出

アイリス・シャッタースピード制御の設定 UI/CGI を変更しました。

オートアイリスの設定をなくし、シャッタースピードが最短でも明るい場合にのみアイリスを絞るようにしました。

#### 【ご注意】

- Ver. 1.31 より前のバージョンから、Ver. 1.31 以降のバージョンへバージョンアップした際、UI に表示されている値と実際の動作が異なる場合があります。その際は、UI で設定しなおしてください。
- 新しく追加された CGI (AutoShutterMaxSpeed, AutoShutterMinSpeed) を使用する場合は、AutoShutter と AutoSlowShutter を ON にしてください。

## 31. Ver. 1.26 の主な新規追加機能について

### 31.1. SNC-CH280/DH280 新機種追加対応

本バージョンでは、SNC-CH280/DH280 が認識できる対応を行っています。また SNC-CH280/DH280 の赤外照射機能に対応しました。

Active X Viewer では、表示される機種名として SNC-CH280/DH280 を追加しました。

### 31.2. 言語

下記の言語が使用できるようになりました。

- 繁体字中国語
- 韓国語

### 31.3. フレームレートの追加

下記のフレームレートを追加しました。

- 12fps
- 16fps

### 31.4. スローシャッターに 1/30 の追加

スローシャッターに 1/30 を追加しました。

### 31.5. RTSP Multicast ストリーミング

RTSP を使用した Multicast ストリーミング要求に対応しました。

## 32. Ver. 1.26 で変更／改善された機能について

### 32.1. ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフ

ARP コマンドを使って IP アドレスを割り当てる機能のオン・オフを用意しました。

詳細は、CGI マニュアルを参照してください。

## 33. 機能の制限等について

### 33.1. Audio Upload Tool

Proxy Server が設定されている場合、Proxy Server によっては Audio Upload Tool が接続できません。ただし接続できない場合は、Proxy Server を使用しないで接続してください。

### 33.2. カメラ妨害検知のアラーム（SNC-CH135 は除く）

動体検知が設定されていない場合、動体検知の検知領域を画面全体に設定してください。さもないと妨害検知が低下することがあります。

### 33.3. VMF（SNC-CH135 は除く）

利用条件によっては、正しく検出できないことがあります。検出されることを実際の使用状況で十分に確認をおこなった上で本機能をご利用ください。

### 33.4. SSL

Windows VISTA または Windows 7 を使用し、SSL でアクセスする場合、Active X Viewer や動体検知画面が開けない場合があります。開けない場合は、以下の設定を行ってください。

1. ツール(T)から インターネットオプション(O)を開きます
2. セキュリティタブへ移動します
3. セキュリティレベル設定にて [信頼済みサイト]を選択します
4. [サイト(S)]ボタンをクリックします
5. [次の Web サイトをゾーンに追加する] にカメラのアドレスを入力します。必ずプロトコル (<https://>)を付加して下さい。
6. [OK]ボタンを押下し、設定を終了します

### 33.5. 画像切り出し

SNC-CH240 / DH240 / DH240T / CH280 / DH280 での画像切り出し出来る最大のエリアサイズは 1280×1024 となります。

### 33.6. RTSP ストリーミング

RTSPストリーミングはパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

H.264/MPEGを使用する場合は、以下の通り

- ビデオ出力:OFF
- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数:2
- 接続ビットレートの合計:4Mbps以下

JPEGを使用する場合は、以下の通り

- HTTP, RTPを含めた同時接続セッション数:1

- フレームレート: 10fps以下
- 画質設定: Level 4以下
- 画サイズ: VGA以下

### 33.7. Edge Storage

Edge Storage を常時記録に設定している時に映像コーデックを変更すると記録が停止します。

Edge Storage 機能を使用する時は、Image Memory, FTP クライアントを使用しないでください。

- Image Memory: 共通タブの[記録機能]をオフ、アラームタブの[アラーム記録]をオフ、定期設定タブの[定期記録]をオフにしてください
- FTPクライアント: 共通タブの[FTPクライアント機能]をオフ、アラーム送信タブの[アラーム送信]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフにしてください

Edge Storage 機能を使用する時は、メールのファイル添付を使用しないでください。

- アラーム送信タブの[ファイル添付]をオフ、定期送信タブの[定期送信]をオフ

Edge Storage 機能はパフォーマンス上の制約があるため、以下の設定を推奨します。

- ビデオ出力: OFF
- ビデオコーデック: 映像2をオフ
- 画サイズは: VGA以下
- H.264/MPEGを使用する場合は、以下の通り
  - ◇ ビットレート設定: 2Mbps以下
  - ◇ フレームレート: 15fps以下
- JPEGを使用する場合は、以下の通り
  - ◇ フレームレート: 10fps以下
  - ◇ 画質設定: Level 4 以下

CF カードに保持可能な録画件数は、最大 500 です。上書き設定がオフの場合、エントリー数が 500 になった時点で新規の記録は停止します。上書き設定がオンの場合、エントリー数が 500 になると古いエントリーから上書きされます。

### 33.8. JPEG の帯域制限

JPEG の帯域制限機能は TCP 通信に対してのみ有効です。

### 33.9. 動体検知領域の設定 (SNC-CH135 は除く)

CGI コマンドを使用して動体検知の検知領域を 180 度以上の内角を持つように設定すると、正しく検知されない場合があります。設定画面からの設定時と同じように全ての内角が 180 度未満になるように検知領域を設定してください。

#### 34. Ver. 1.32.01 で改善した問題点

Ver. 1.32.01 で新規に改善した問題点はありません。

#### 35. Ver. 1.31 で改善した問題点

##### 35.1. Absolute PTZF

Ver.1.31 以前のソリッドPTZ 機能を持つモデルのみ画面右下が正の方向でしたが、他の機種に合わせるため画面右上を正の方向に変更しました。

(Ver. 1.10からの問題)

ファームウェア Ver. 1.31 以降で、画面右下を正の方向にする場合には、camera.cgi SolidPTZTiltDirection を “down” に設定してください。

詳細は、CGI マニュアルを参照してください。

##### ご注意

- Ver. 1.31 より前のファームウェアのカメラに接続した際、上下逆に動作します。

##### 35.2. SNC-CH240/DH240/DH240T/CH280/DH280 の画質

撮影環境により十分な解像感が得られない場合がありますので、修正いたしました。

(Ver. 1.10からの問題)

##### 35.3. H.264 での画乱れ

ビデオコーデックにH.264を指定し、ActiveX Viewerで画像を表示していると、動きのある箇所の画像が乱れることがありましたので、修正いたしました。

(Ver. 1.10 からの問題)

##### 35.4. 動体検知

動体検知中にパン・チルト動作を繰り返すと、動体検知が動作しなくなることがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.00 からの問題)

##### 35.5. イベントファイル

イベントファイルに異常なフレームが存在する問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.22 からの問題)

## 36. Ver. 1.26 で改善した問題点

### 36.1. 時刻変更

時刻変更を行う際、変更前時刻から 50 分以内の修正を行うと、数秒後に元の時間に戻ってしまう問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

### 36.2. Edge Storage

音声を記録する設定で、推奨設定以上の設定で使用する場合、ストリームの再生が出来ない場合がありますので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

ビデオコーデックに JPEG を選択して、音声記録をオンにすると、正しく記録されないことがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

映像と音声を記録しているファイルを再生する際に、RTP/RTSP または RTP/RTSP/HTTP で接続すると、音声再生されず、2回目以降接続できなくなる問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

### 36.3. ストリーミング以外の静止画 (JPEG) の画質設定

メール、FTP クライアント、イメージメモリー機能で使用する静止画 (JPEG) の画質設定が固定になっていましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

### 36.4. MPEG-4 でのビットレート

ビデオコーデックに MPEG-4 を選択し低いビットレートを指定すると、指定のビットレートよりも高いストリームデータが送信されることがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

### 36.5. RTSP

コーデックの設定を変更すると、RTSP/RTP/UDP のストリームが取得できない場合がありますので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

RTSP の接続切断の繰り返しで、映像が出なくなる場合がありますので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

JPEG の画像サイズが 280Kbyte を超えると映像が出ない問題がありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

コーデックを切り替えながら RTSP の接続切断をすると、映像が出ないことがありましたので、修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)

36.6. EasyFocus 中のデイ／ナイトモード設定変更

EasyFocus 動作中にデイ／ナイトモードの設定変更を行うと、設定が正しく反映されない場合がありますので、修正しました。

(Ver. 1.05.03 からの問題)

36.7. 制限を超えた画像サイズの設定 (SNC-CH240/DH240/DH240T)

映像 1、映像 2 への画像サイズの設定が、カメラが対応していない組み合わせの場合、映像送信が停止するという問題がありましたので修正しました。

(Ver. 1.10.01 からの問題)



## 37. 既知の問題点について

### 37.1. IPv6 DHCPv6 について

IPv6環境で、DHCPv6サーバーとしてWindows Server 2008を使用している場合、IPアドレスを正しく割り当てられないことがあります。このような環境下では、IPv6ステートレスアドレス自動設定を使用してください。

### 37.2. Safari について

Safari4 または 5 にて Plug-in free viewer のストリーム方法にて JPEG を使用した場合は、メモリ使用量が増加し、Safari が異常停止することがあります。長時間の連続再生を行う場合は、ストリーム方法を JPEG Flash で使用するか、他のブラウザをご使用ください。

### 37.3. ソリッド PTZ

ソリッド PTZ を[オン]した時に、ActiveX Viewer で映像 2 を選択すると PTZ の操作パネルと全体画像が表示されません。

ソリッド PTZ を使用する場合は、映像 1 を選択してください。

### 37.4. H.264 での画揺れ

ビデオコーデックに H.264 を指定し、低照度の環境で使用すると、画像の一部が揺れるように見えることがあります。XDNR を高にする、ゲイン設定を高にしている場合は低くする、またはコーデックに JPEG に指定することで改善します。

### 37.5. ナトリウムランプ光源下でのフリッカー

ナトリウムランプ光源下でフリッカーが発生することがあります。その場合、View-DR 機能をオフにしてください。

### 37.6. Edge Storage

推奨設定以上の設定で使用する場合、ストリームの再生が出来ない場合があります。

記録中に追いかけて再生を行うと、再生が記録に追いつく場合があります。その時は、再生が停止します。

映像と音声を記録しているファイルを再生する際、映像と音声の同期が取れない場合があります。

### 37.7. RTSP

推奨設定以上の設定で使用する場合、機器が再起動することがあります。

### 37.8. SNC video player

SNC video playerで再生するファイルが保存されているフォルダ名の最後の文字が数字である場合、正常に再生できない場合があります。その場合にはフォルダ名の最後の文字を数字以外にしてください。

37.9. Smartphone viewer での長時間再生

カメラのビデオコーデックにおいて大きな画像サイズが設定されている場合、長時間ビューアーを開いているとビューアーが停止することがあります。その際は再度ビューアーを起動し直してください。

37.10. Smartphone viewer での複数ボタンの同時押下

Xperia™ arc では、PTZ ボタンを複数個同時に押すとカメラの PTZ 動作が動き続けることがあります。動作を止めるには、押したボタンのいずれかを再度押し直してください。

37.11. SNC toolbox によるカメラ妨害検知ならびに音圧検知設定（SNC-CH135）

SNC-CH135 では SNC toolbox からカメラ妨害検知ならびに音圧検知の設定ができません。設定画面から設定してください。

37.12. MPEG4 設定時の RTSP ストリーミングで映像が表示されないことがある問題

RTSP ストリーミングでビデオコーデックを MPEG4 に指定した場合、一部のビューワーで映像が表示されないことがあります。その際は他のビューワーを使用するか、ビデオコーデック設定を H.264 に変更してください。

（全機種共通）